

## 「第 43 回全国豊かな海づくり大会」大分大会の佐伯市開催を求める意見書

全国豊かな海づくり大会は、「水産資源の保護・管理と海や河川などの環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、水産業の振興と発展を図る」ことを目的に、国民的行事として毎年各地で開催されています。記念すべき第 1 回大会は、当時の皇太子同妃両殿下が御臨席され、昭和 56 年に旧鶴見町で開催されました。

佐伯市は古くから「佐伯の殿様浦で持つ」と言われるほど漁業が盛んな地域で、黒潮の暖流と瀬戸内海からの寒流がぶつかりあう豊後水道は魚影が濃く、全国でも屈指の好漁場となっています。リアス海岸の複雑な地形と森や川がもたらす栄養塩により、多くの魚介類を育む生産力の高い海が形成され、この豊かな自然環境によって、多種多様な海面漁業や養殖業が発展し、豊かな海から多くの恵みを楽しんでいます。

この美しく豊かな自然環境は、佐伯市、大分県、日本の宝であり、守り、未来につないでいかなければなりません。佐伯市では令和 2 年に第一次佐伯市水産業振興計画を策定し、漁場環境の整備・保全、種苗放流や適切な資源管理を積極的に展開しています。

また、本市議会では、議員政策研究会において、廃プラスチック問題をテーマに海洋汚染や生態系に悪影響を及ぼすことが懸念されている海洋プラスチック問題などについて調査・研究を重ねています。全国市議会議長会の「海洋プラスチックをはじめとするプラスチックごみ問題に関する特別委員会」にも参加することとし、豊かな海を守ることを意識した取り組みを進めているところでもあります。

大会開催を機に漁業の振興、発展はもとより、我が国の海の恵みと美しさを未来に向けて人々が享受できるよう守り・つなげるため、豊かな海づくりへのさらなる機運の醸成及び海洋プラスチック問題をはじめとする諸課題解決への機運の醸成が期待されます。

これまで、県下で最も豊かな海の恩恵を享受してきたのは佐伯市であると自負しております。県下一の水産のまち佐伯市で開催させていただき、豊かな海への恩返しをさせていただきたいと考えております。

よって、是非とも佐伯市を「豊かな海づくり大会大分大会」の開催地として選定していただくよう強く要請します。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 4 年 2 月 22 日

大分県佐伯市議会